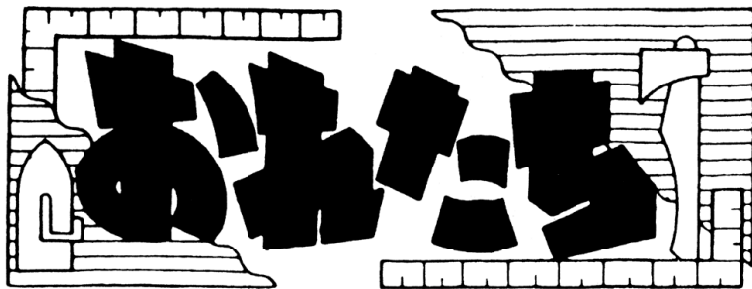


無料法律相談日の案内

9月19日(金)14時～16時

希望者は前日までに予約を

8月当初組合員数＝1791人(－25人)



発行所

東京土建一般労働組合荒川支部

東京都荒川区荒川6-3-1

TEL (3892) 9131 FAX (3892) 9381

発行者・津田宗久／編集長・小熊賢一

http://www.doken-arakawa.org/



戦後80年の節目の今年、組合員さんから、当時の様子を聞き書き記しておくべきと、部会で話し合われました。結果3名にインタビューをすることになり、戦争を通じて子ども頃の体験を聞き、私達とは違う少年期をどのように過ごして来たのかをまとめました。

戦争を知らない私たちがそれを知り、後世に伝えていくことも大切なことだと思つたからです。先の戦争を忘れず、80年前に誓つた「二度と戦争をしない」を私達は忘れてはいけません。

戦後80年の平和を顧みる

戦後80年の平和を顧みるにあたり、日本において80年間の平和が維持された基本理念は、憲法9条の戦争の放棄である。たとえ第三次世界大戦が勃発して、地球が灰塵と化しても、生き残った人類は戦争の放棄を、叫び続けなければならない責務を負っている。

ある歴史家は、人類の文化は戦争の歴史とともに、発展してきたという人もいるが、確かにその一面はあるように見えるが、戦争を人類の文化発展の礎と位置付けるような思考は、あまりにも無謀で無責任な危険を伴う思考である。

いま、冷静に世界の近代史の中の戦争を垣間見ると、多くの戦争が植民地獲得の侵略戦争であった。その始まりは、大航海時代(15世紀中期～17世紀中期)のスペイン・ポルトガル両国の植民・侵略戦争が世界の先陣となった。

その後に、後塵を拝したヨーロッパ列強も、植民地獲得に東南アジア・アフリカにと、魔手を伸ばし、特に、産業革命(18世紀中期～19世紀中期)中の資源の

獲得に、国運をかけた侵略にしのぎを削っていた。

時の日本は、江戸幕府の215年間の鎖国の眠りの中にあり、黒船の来航で覚醒し開国したが、欧米との国力と技術の格差は歴然としていたが、欧米と互角になるために、1889(明治22)年、大日本帝国憲法を發布し立憲国となった。

この憲法は主権者である天皇の絶対性の位置づけと、その国体を護持するために、国民を隷下に置き天皇の命をもって、為政者・著明人を先進国に派遣し学び産業革命を短期間で達成させた功績もあった。

後発国日本が国土の拡大と資源の獲得のために、植民地主義に陥ったことが世界の悲劇である。ここに登場した各氏の証言は、この歴史の1ページであり消してはならない1ページです。

【竹達 浩通信員】

平和共同取材 東京大空襲

【堀井龍二通信員】

7月13日(日)10時に江東区東陽公園集合して、東京大空襲で多くの被害があった江東区の「東京大空襲を歩き」をガイドの工藤芳弘さんの案内で共同取材が始まりました。

東陽公園でも空襲で多くの人が殺されて、その遺体の仮置き場としてたぐさんの人が埋められたそうです。

ガイドさんの後を歩い



ていて最初に東陽4丁目の深川親子地藏尊、昭和20年3月10日の東京大空襲で子供を抱いた母のそばで焼夷弾が落ち、母子ともに黒焦げになって死んだことでこの名がつけられたそうです。

よく見ると祠の中の地藏さんが小さな子供を抱いている姿が見えて哀れさを感じます。

東京大空襲で亡くなった東陽4・5丁目の方々の霊を供養するために、昭和23年3月に三年忌法要に町会によって建てられました。

今でも毎年3月10日に慰霊祭を行っているそうです。そして、最後に行ったところが南砂にある馬頭観世音の碑です。

砂町、深川一帯は都内において当時もとても多く荷車を引かせる馬業者が多くいました。ばん馬の大半が東京大空襲で既舎や路上で焼死しました。昭和28年9月愛馬野の霊を弔い、この地に運送業者中心で馬頭観世音を建立しました。



訂正とお詫び 前号4面拡大報告東尾久2分会の見出しに「祭」という字が挿入されていました。削除と同時に関係者の皆様にお詫び申し上げます。

▶適格請求書発行事業者公表サイトの運営方針
出典／国税庁

内緒の
山部屋10

今年1月11日に事務所の引っ越しをしました。東日暮里は良いところですね▼1月14日に税務署へ適格請求書発行事業者の公表事項の変更申出書を提出しました。自分の場合は主たる事務所も公表しているので、この手続きが必要です。ところが：▼ひと月経ってもインターネット上の公表サイトにその旨が反映されません。税務署へ「どうなってるの」と尋ねてみると、「(自分のところでは分からないので)インボイスコードセンターへ電話してください」と言われてしまいました。で、そこへ電話すると今度は「インボイス登録センターへ電話してください」とたらい回しだ。おいおい。結局その後、何事も無かったかのように2月20日付で新しい住所が表示されました▼21世紀の楽しい日本のデジタル社会で、たかが住所変更するのに37日も掛かるって、どういうことなんだ？河野太郎くん(当時デジタル大臣)。まさか、誰かの判子待ちで遅くなつてたんじゃないだろうねえ？(東尾久1 藤川直樹)

遠足の日、空襲が

高岡豊明さん 東尾久1分会



学校が消失すると、地域でゆいいつ残った、赤土国民学校へ4年生から6年生まで通ったそうです。

当時多くの子どもたちは、学童疎開をしました

生まれたときから、東尾久5丁目の自宅のあるこの場所で、ずっと暮らしてきた高岡さんにインタビューしました。戦争の被害も数多く体験されました。

「死ぬときは家族一緒だ」と言っただけ高岡さんは戦時中も学校へ通ったそうです。

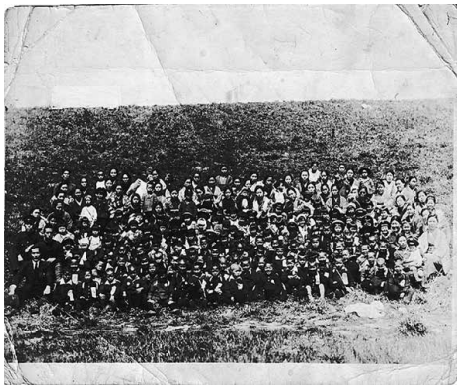
家の近くには、火の見櫓があり、そこで小学校

（現尾久宮前小学校）へ通うようになって1年生になったばかりの昭和17年4月18日、日本は初めてアメリカの空襲を受けます。

高岡さんは、その日、荒川の土手へ遠足に行ったそうです。提供してくれた写真には、当日、土手で撮った集合写真があります。その写真には、高岡さんの父の裏書がしてありました。（写真参照）遠足は、江北橋を渡った辺りだったそうです。

爆撃の音を聞いて、慌てて近くのお寺（恵明寺 えみょうじ）へ避難したそうです。女の子はお寺の中に、男の子は軒下で空襲が終わるまで避難しました。

東京大空襲で宮前国民



尾久橋通りの近くに飛行機が落ちたときは、大騒ぎになったそうです。学校の給食はパンが出たそうです。空襲警報が出ると子どもたちは、パンをもらって家に帰されたそうです。

尾久橋通りの近くに飛行機が落ちたときは、大騒ぎになったそうです。学校の給食はパンが出たそうです。空襲警報が出ると子どもたちは、パンをもらって家に帰されたそうです。

火力が強くて良く燃えたそうです。その頃は、自宅も防空壕も燃えてし

るそうで、疎開で子どもたちが減っていくと多めにもらえるときもあったそうです。

家の食事は配給があり、ぎりぎり家族が食べる分は確保できたようです。

家には、父親の作った防空壕もあって、空襲の時はその避難していた

そう、お姉さんが菓子工場に勤めていて防空壕の中には、お菓子や乾パンがあって、それを食べていたそうです。

家の前の道路に焼夷弾が落ちることもあったそうです。

あるとき父親が、高岡さんに地面に刺さった焼夷弾を持ってこいと運ばせたそうです。

なんに使うかと言うと驚きで、父親が作ったドラム缶の五右衛門風呂を焼夷弾の残った油を燃料に湯を沸かしたそうです。

驚きで、父親が作ったドラム缶の五右衛門風呂を焼夷弾の残った油を燃料に湯を沸かしたそうです。

火力が強くて良く燃えたそうです。その頃は、自宅も防空壕も燃えてし

まっ、バラックを建てて暮らしていたそうです。

尾久の街で初めに焼けたのは、熊野前商店街、

尾久小学校のあたりで、その火が、高岡さんの家の方まで火の手が回ったそうです。

最後に、校舎のない宮前小学校で、先生と2人

きりで先生が本を読んでくれた話をされました。

先生が本を読み終わると「今日の授業は、これでおしまい」と言ったことを覚えていいるそうです。

戦時中に東尾久の街を駆け巡る高岡少年が思い浮かびました。

昭和18年上野動物園この年動物が殺処分された



上段写真は高岡さんが宮前国民学校1年生の時荒川土手の遠足の写真
下段は写真の裏書。昭和17年4月18日東京に空襲があった事が書かれている

小さな頃の思い出

立木あつこさん 町屋南分会



小さい頃の立木さんは、男手が無いので、家の手伝いは良くやりました。田んぼの手伝い、リンゴの木の草むしりなど。

籠を背負って、軍馬の餌

長野県波田村出身（はたむら）現在は、松本市に合併、奥に向かえば上高地もあり、大正時代から松本鉄道が通る自然豊かな風光明媚なところ。

松本市には、松本50連隊があったが（現在の信州大学の敷地）被害が無かった

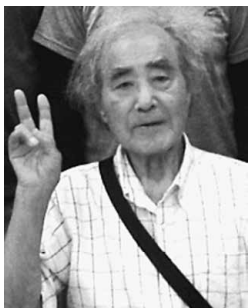
そう、長野県は、古くから軽井沢などに別荘地として外国人が多く居たからかもね？と話されています。

唯一、グラマン（アメリカの戦闘機）が上空を偵察していたのを見る程度だったそうです。

唯一、グラマン（アメリカの戦闘機）が上空を偵察していたのを見る程度だったそうです。

B29の空襲の連続

佐藤仁一さん 荒川分会



小学校に通学します。

戦果も激しくなった5年生の時に妹と福島県安達太良山に学童集団疎開し親元をはなれます。

冬になると雪深くなり飯坂市内に下りて来ました。食糧難でいつもお腹を空

かして辛い思いをした。六年生になった時に妹を残して親元に返されます。第七峡田小学校に戻ります

出身は中目黒で、物心が付いた時は現在の荒川に引っ越して来ました。小学校は町屋の第七峡田

使う鍋や釜など、余っているものは全て供出し、装飾品の指輪さえ納めていたそうです。米が足らないと言

って、終戦が近づいて来る頃には農家でも少しでも余っていたら取られてしまう

とのこと、それでも、蕎麦や麦は、そこまで取られることはなく、ぎりぎり食べていくことは出来たそうです。

小学校で食べる冬場のお昼は、婦人会のお母さん方が、子どもたちが持ち寄った自家製の味噌や野菜を使

って人参やジャガイモ、小松菜などの野菜のお味噌汁を作ってくれておいしく食べていたそうです。

しかし、夏場は、まゆをはってさなぎになった蚕を炒めてご飯のおかずにする

そうですが、それがまずくて食べるのに苦労したそうです。

他に週に2回くらい野口英世の栄養剤も配られ、嘔

すと連日、B29の飛来による空襲の連続です。

低空飛行のB29は爆弾の投下で空を覆い隠す光景は今も目に焼き付いています。

空襲が激しくなりお父さんの実家の山形県にお母さんと疎開します。

終戦を迎え、焼け野原になった後に掘って立て小屋を建て、お父さんが山形県に迎えに来ました。

上野駅に着いた時に目に入って焼け野原、高台からは本所方面はまる見えだった事を思い出します。

戦後特集取材チーム小熊、竹達、藤川、並木、堀井

戦後特集取材チーム小熊、竹達、藤川、並木、堀井

戦後特集取材チーム小熊、竹達、藤川、並木、堀井

経験を学び熱く語る

組合の魅力は「なかま」

7月5日、6日の2日間、群馬県磯部カレンホテルで本部主催の分会活動経験集会が開かれました。各支部から265人、荒川支部からは7人の参加でした。分会活動経験集会は、さまざまな支部のそれぞれの

7人で感じたPassion(情熱)

【東尾久2分会 伊藤貴司】

7月5日、6日の2日間で荒川支部から7名で磯辺温泉「雀のお宿」にて分会活動経験交流集会に参加してきました。

今回のテーマは「Feel the Passion、情熱を感じて」です。

そのテーマの通り、本部の石川組織部長のお話の始まりは「私は今、夢だった本部の組織部長をやらせて頂いています」と熱い思いや、各分会の報告ではどの分会も熱いものばかりでとてもPassionを感じました。



本会場で発言する伊藤分会長

散会では各分会が力を入れているイベントの話や、群会議などに人を集めるには何が必要なのか？を真剣に考えて積極的に意見を交わす会議が行われ、日頃から色々と考えながら活動されている方たちばかりでとても感化されました。会議が終わり、食事しながらの交流会が終わって部屋に戻ってから組合の話をする熱い2日間でした。組合活動において新たな視点を得られるかも知れない分会活動経験交流集会。まだ参加されたことない人は是非、参加してみてください。



この経験を今後の活動に

【後継対策副部長 松本 諭】

今回初めて分会活動経験交流集会に参加させていただき、他支部の皆様々な分会のお話を聞けてとてもいい経験になりました。

組合活動としては各支部組合員数や地域差はあるものの、共通問題としては活動家不足や高齢化問題がこの支部でも同じ悩みがあるように感じました。

ある支部の分会では若手に分会の役員になってもらう取り組みとして基任期2年として、分会書記長↓分会長↓副分会長(財政部長)のシステムでやっているの聞きました。まずは書記長をやって経験を積み、そして分会長になり、次に分会

長を支える役割として副分会長を担当するのことでした。その分会では30代でそのシステム行っていたのでとても素晴らしい取り組みができていたと感じました。

また発表では、活動に関して「やってやってみる」「やらされてる」ではモチベーションも上がらないし、活動家も増えないしどうせやるなら前向きにやった方がいいという意見やシニア、ミドル、若手とした世代間を三位一体でやってみようとか大事という意見もあり、改めて全世代で組合活動に取り組むことが大事なことと感じました。

分散会ではそれぞれ支部の拡大での悩みや苦勞を聞くことができました。

交流集会に参加してみて

【尾久2分会神田正紀】
初めて参加してみても、まずすごい人数だなと思いました。

荒川支部以外の人たちを見るのも初めてだったので以外に若い人がいるんだなと思いました。

交流会が始まるとまずどのよう仲間や活動家を集めるかを皆さんは同じ悩みを持っている

多摩方面の支部では山を越えて拡大で訪問したり、都市部の支部では夜は不在が多いため平日中の活動をしたり、それぞれの地域で異なる苦勞があると知りました。すべてをここに書くのも多くなってしまふので別の機会に発表できればと思います。

話を聞いているだけではなかなか感じられなかったことが参加して見て、聞いて、発言することによって知れたことや感じたことは貴重な経験でした。

参加したことのない組合員さんにはぜひ、他支部、他分会の「パッション」を感じられるイベントに参加してほしいと思います。

この経験を今後の組合活動に生かしていきたいと思っています。

所属している分会を盛り上げようとしていることをとても感じました。

とてもためになるいい会でした。まだ行ったことない人はぜひ参加して見るといいと思います。

ぜひ皆さんもとても熱い思いを持った土建の仲間たちに会いに行ってみてはいいがですか。土建に対する考えが変わるかもしれませんよ。

熱中症予防教育

田村高広後継者対策部長

熱中症予防教育の講習会が7月13日(日)に葛飾支部の後藤さんを講師に22名の参加で9時から行われました。熱中症とは野外、野内でもなってしまう事。勿論、水分をとる事は必要ですが水ばかりではなくスポーツドリンクや味のする飴や塩分もとる事も大事です。

やはり作業前のミーティング、朝御飯、水分、睡眠は絶対です。後は深酒、タバコも要注意です。空調服や今は通気の良い作業服がたくさんあるので、工夫するのも必要です。し作業場所にも水筒を置く。

時間を関係なしで小まめに休憩や水分補給が大事な事です。1人作業をしない、させない、無理をさせない、声の掛け合い等も大事な事です。

午後2時頃の作業時間が一番危険だそうです。体調が悪いと思ったら、すぐに日陰で休むのが大事ですね。汗が出なくなったり筋肉の硬直、目まい等があったら危険信号です。声も出なくなったら迷わないで現場で作業してる人にも気を向けて声の掛け合いをしていきたいと思いました。皆さんも他人事ではないので気をつけて暑い夏を乗り越えましょう。後藤さん、ありがとうございます。



熱心に学習する参加者の皆さん



来の人々の平穩無事を祈る老僕となっていた。

先週(7月19日)発行

された、荒川区議会議員相馬ゆう子の南千住レポートの記事を想い出し、一面の「国籍を超えてともに生きる荒川区」のなかに、荒川区の人口の推移と、荒川に住む外国籍の人の人口推移、並びに生活環境の状況が書かれていたので要約して載せます。

【6月時点で、荒川区の人口は22万3981人、20年前の1・17倍、3万2850人が増加しました。同じ時点で区内外国籍の人は、2万4743人で、割合は区人口の10・6%となる。

平和を感じ、佇んで、往

観劇の楽しさを

前進座後援会総会に参加

【津田宗久委員長】

7月13日に吉祥寺の前進座会館で32人の参加で行われました。

本部厚生分会部長小坂さんから挨拶があり今年も続



上段 役者さんの寸劇、中段 けいこ場にて、下段 懇親会

り、即ち、区民10人のうち一人は外国人となります。

国別では、93カ国(2025年1月1日時点)の人々が区内で共に暮らしています。年代別では20・30代が5割以上で日本の労働不足を補っていますが。

外国籍の人には、今も就労や住宅での不利益な扱いの実態がある一方で、ゴミ出しルールなど文化・習慣の違いによるトラブルも少なくありません。

荒川区は、「人権推進指針」(2001年策定)の中に「現在社会においてなお、高齢者や障害者や女

全員から発言があり、前進座の俳優さんからは寸劇で不法投棄のお芝居を現代版と歌舞伎バージョンを披露して頂きとても楽しい呑み会でした。

稽古を終えた俳優達が順々と挨拶に駆けつけてくれました。

お芝居を観るのも楽しいし皆さんと懇親会もとても

性、或いは外国人に対する差別や偏見が見られる」として荒川区で、生活する多くの外国籍の人々と共生を図るため、日本の生活ルールの理解を求め、日本人も外国の生活習慣を知り、「すべての人が認め合い共生できる街」を目指しています。

また、日本の人手不足を補う外国籍労働者が欠かせない現状の一方で、「外国人が増えると治安が悪くなる」「外国人を優遇している」など事実と反する偽情報が増大しています。】

【竹達浩通信員】

楽しいです。みなさんも是非参加してみてください。

東京から比較的近場

『七沢温泉』その②

6月5日の木曜日、親方とお袋さんと妻と自分の4人で、ランチ付きの日帰り温泉へマイカーで出かけました。

今回訪ねたのは、東京から比較的近場の七沢温泉(神奈川県厚木市)です。

【東尾久一 藤川直樹】

ランチの途中で、鮎の塩焼きが出てきました。

荒友会暑気払いいつも元気で

【堀井龍二通信員】

7月28日(月)午後12時支部3階で荒友会の暑気払いが始まりました。

はじめに加藤荒友会会長のあいさつがあり、その後に熱中症対策を「ごぼう先生」のビデオを見ながらイス体操を見ながら皆と一緒に体操をしました。



その後、加藤荒友会の会長の乾杯の後、お酒とつまみで楽しみながら話が盛り上がり、いろんな話に花を添えました。

YouTubeのチャンネル問題や、反則っぽい話。白鵬関のひじのサポーターが非常に硬い、かちあげた時、相手に負担をかけると貴闘力のYouTubeで見たと並木さんが言うので、あの双葉山の69連勝に僅か4まで迫った大横綱がこんなしょぼい事を考えていることに情けなく思い。

私の大先輩の双葉山関は、やはり偉大だと私も立浪部屋出身なので誇りに思いました。

りします。でも、窓から見える緑がキレイですし、宿の脇を流れる小川にはホタルも出るそうです。「ちょうど今、夜になるとホタルが出るんですよ」とホタル愛丸出しの仲居さんが教えてくれました。

そんなこんなで、市内の蔵元の黄金井酒造(盛升)へ立ち寄ったり、あつぎ鮎種苗センターで鮎の甘露煮を求めたりもして、一日楽しめました。

みなさんも、たまには仕事を放り出して、温泉に浸かってみるのはいかがでしょう。